



八鹿青溪



貫徹 慎独 創造

養父市立八鹿青溪中学校 校報

(令和5年9月21日) 第15号



八鹿青溪中 HP

学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

第4回全校集会

9月12日(火)、今年度4回目の全校集会を行いました。体育祭直後ということもあり、生徒たちが頑張って踊った八鹿青溪ダンスにまつわる話をさせてもらいました。

「体育祭が終わりました。とても良い体育祭でしたね。さて、体育祭の最後に踊ってくれた八鹿青溪ダンスですが、ひとつは八鹿青溪中学校の校歌をダンスバージョンに編曲したものです。そしてもうひとつは『栄冠は君に輝く』という歌のダンスバージョンだったのですが、あれは果たして何の歌でしょうか？そうです、高校野球ですね。と言っても正確に言うと、“夏の高校野球”(全国高等学校野球選手権大会)の大会歌なのです。高校野球には夏だけではなく、“春の高校野球”(選抜高等学校野球大会)もあります。ちなみに春の大会歌は『今ありて』という曲。歌手の谷村新司(たにむらしんじ)さんが作曲しています。♪新しい季節(とき)のはじめに、新しい人が集いて♪♪ああ、甲子園、草の芽は萌え立ち・・・♪」

「さて、本題の『栄冠は君に輝く』を作曲したのは誰かと言うと、すでに亡くなっていますが、古関裕而(こせきゆうじ)さんという方です。古関裕而さんは、ほかにもこんな歌も作曲していますよ。♪六甲おろしに颯爽と 蒼天翔ける日輪の・・・♪さて、この歌は何の歌でしょうか？そうです、阪神タイガースの歌ですね。また、ほかにもこんな歌も作曲していますよ。♪闘魂込めて大空へ、球は飛ぶ飛ぶ、炎と燃えて・・・♪そうです、読売ジャイアンツ、つまり巨人の歌なのです。ということは、古関裕而さんという方は、阪神の歌も巨人の歌も作っておられるということになるのです。」

「このように古関裕而さんは、野球に関する歌をはじめ、スポーツに関する曲をたくさん作っておられることから東京ドーム内にある野球殿堂博物館でその功績が今年度より紹介されることになりました。そのことを“野球殿堂入り”と言って、原辰徳さんやら金本知憲さんなどの元プロ野球選手だけではなく、『野球』という日本語を作ったとされる明治時代の俳人正岡子規も野球殿堂博物館でその功績が紹介されています。以上、今日は雑学のレベルですが、『栄冠は君に輝く』を元気に踊ってくれた皆さんに是非とも伝授しておきたくてこの話をしました。」



古関裕而さん



薬物乱用防止教室

9月12日(火)、兵庫県薬剤師会より講師をお招きして、2年生を対象にした薬物乱用防止教室を開催しました。まずは冒頭で、養父保護区保護司会の会長様より薬物に関する「闇バイト」の悲惨な現実をお話いただきました。その後、



兵庫県薬剤師会より「『薬物乱用』とは違法薬物を使うことだけではなく、通常の医薬品の目的や分量を逸脱した使い方をすることも指します」という説明を聞きました。また、「違法薬物利用の誘いを受けてしまい、どうしても断れない場合は、その場から逃げるのが大切です。」とも教えていただきました。たいへん重要なことを学んだ時間でした。

全国学力・学習状況調査結果⑤

今号からは、教科の調査結果についてお知らせします。まずは、国語と数学です。次号（最終回）で英語の調査結果についてお知らせします。

- ◆「国語」 全体平均正答率：全国・県平均値よりも少し上回る。
(+10ポイントの範囲内)

【特徴】

- ・「知識・技能」のみならず、「思考・判断・表現」においてもおおむね好結果。
- ・領域（「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」）に関する傾向としては、いずれの領域もおおむね好結果。一般的には、「書くこと」が苦手な中学生が多いものだが、八鹿青溪中の生徒はそれを感じさせない。根拠を明確にして書くことができている。
- ・問題形式に関する傾向としては、「選択式」「短答式」「記述式」のいずれもおおむね好結果。
- ・古典に関する出題において、歴史的仮名遣い、現代語訳等に関する基礎的・基本的な知識を身に付けているだけではなく、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠にもとづいて考察・記述する力も身に付けている。
- ・漢字を書く出題で「推し量って」を「押し量って」と誤答するケースが散見した。既習の字を忘れないように漢字練習を継続させたい。
- ・全体的に出題に対する無解答率が低く、最後まで粘り強く解答をした跡が見て取れる。



- ◆「数学」 全体平均正答率：全国・県平均値と同程度。
(+5ポイントの範囲内)

【特徴】

- ・「知識・技能」は好結果。いっぽう、「思考・判断・表現」は全国・県平均値なみ。
- ・領域（「数と式」、「図形」、「関数」「データの活用」）に関する傾向としては、「図形」の証明問題にやや課題が見られる。いっぽう、「データの活用」は好結果。「数と式」「関数」は全国・県平均値なみ。
- ・問題形式に関する傾向としては、「短答式」が好結果だが、「選択式」「記述式」はともに全国・県平均値なみ。
- ・グラフに関する出題で好結果。グラフの読み取りや事象に即した解釈において学習成果が出ている。
- ・数と正式の乗法の出題で好結果。基本的な計算能力が身に付いている。
- ・証明に関する出題には課題があるが、無解答率は県・全国平均より低く、懸命に頑張っただけで解答した跡が見て取れる。「図形の一部を変えたときに証明がどう変わるか」という出題形式に戸惑った生徒が多くいたと思われる。
- ・自然数の意味に関する出題に課題。基礎的な知識の確認が必要。
- ・全体的に出題に対する無解答率が低く、粘り強く最後まで解答したことが分かる。



※全国学力・学習状況調査に関する養父市全体の傾向・結果分析等については、後日養父市教育委員会より示されます。

【つづく】